



—第17回—

竹島 愛葉 さん

PROFILE

十和田市出身。県立十和田西高校3年。平成22年より、十和田市子ども会ジュニアリーダーに所属。平成24年4月から部長に就任した。次世代のリーダー育成のため、学校と両立しながら子ども会活動に励む。趣味は走ること。

次世代のリーダーの育成を目指して 子ども会活動の楽しさを伝えたい



5月に中央公民館で行われた市内小学生を対象とした市子ども会初級リーダー育成研修会。この研修会は、レクリエーションを通して、子ども会活動の楽しさを伝え、各地区の代表となるリーダーを育成することがねらいだ。

参加者は、グループごとに分かれて自己紹介や創作活動、ゲームなどを行い、交流を深めていた。

研修会の先頭に立って指揮を執るのは、今年4月に市子ども会ジュニアリーダーの部長に就任した竹島愛葉さん。終始笑顔で子どもたちに接し、笑いを交えながら進行していた。

ジュニアリーダーは市内の高校生を中心に組織され、活動は年間を通して行われる。初級・中級リーダー育成研修会やキャンプの企画・運営、また周辺市町村や友好都市などとの交流事業にも参加している。

子ども会のコンセプトは、自発的に行動できる力を養うこと。ジュニアリーダーらは、さまざまな活動の中で、子どもたちが自分で考えて動けるように促すことが大切である。

竹島さんは、高校1年生のときに父の直樹さんの勧めで活動に参加した。

「人前で話をするのが苦手で、子どもにうまく教えることができなかつた」と、当時の自分を振り返る。

先輩から「いつでも笑顔を忘れずに」と、アドバイスをもらった。それ以来、自分から楽しみ、笑顔で子どもたちに接することを心がけているそうだ。

「楽しみの中から学びを与えることがジュニアリーダーの役目だと思う」と、話す。

現在、子ども会の参加者が減少傾向にある。竹島さん自身もジュニアリーダーになるまで、子ども会活動は小学生のときにキャンプに参加しただけだった。もっと参加すればよかったと後悔していると言う。

「この活動を通して、仲間もたくさんでき、人見知りだった自分が人前で話をするのできるようになった。子ども会は、自分が変わるきっかけ」と、話す。

「市民の皆さんも地域の子ども会にどんどん参加してほしい。今度自分が伝える番。積極的に企画をして、子ども会活動の楽しさを伝えていきたい」と、意気込みを話した。

